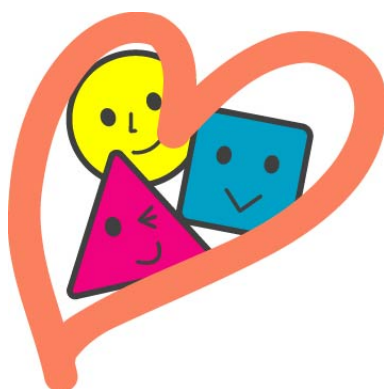


第21回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「取りもどそう 創り出そう 人権教育の可能性」

2010年8月9日（月）～11日（水）

会 場：広島女学院中学高等学校



主催

第21回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

開催の目的

- ①キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを創る。

第21回 全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

「取りもどそう 創り出そう 人権教育の可能性」

主イエスの平和を。

全国キリスト教学校人権教育研究協議会は、学校や教会での人権教育を深め、人権教育に携わる人たちのネットワークを広げることを願って、各地でのセミナーや夏の全国セミナーを開催しています。今年は、第5回のセミナー開催地であった広島女学院中学高等学校を再びお借りして、第21回全国キリスト教学校人権教育セミナーを開催いたします。

広島の様々な歴史に出会う魅力的なフィールドワーク、現場での試行錯誤を共有し、教育実践への一步を踏み出す糧となる分科会、藤井創さんによる聖書研究、鋭い文明批判の言葉を紡いでおられる野田正彰さんの講演など、盛りだくさんの3日間です。日ごとの祈りや参加者同士の語り合いなど、静かに内省したり、学びを深めたりする時間も持つことができます。

人権教育の可能性を見いだしたい方、迷いの中にある方、実践の工夫や喜びを分かち合いたい方、人権教育になんらかの形で関心をもつすべての方を歓迎いたします。

この夏、ぜひ広島へ！ 多くの皆様のご参加をお待ちしております。

● テーマ **「取りもどそう 創り出そう 人権教育の可能性」**

● 日程 **2010年8月9日(月)～11日(水)**

● 会場 **広島女学院中学高等学校**

HP : <http://www.hjs.ed.jp/>

● 参加費 <<全日程参加>> 出張 16,000円 / 自費 12,000円 / 学生 10,000円

(参加費にはセミナー諸費用・食事代・ニューズレター購読費が含まれます)

<<部分参加>> 1コマ(午前・午後は各1コマ) 2,000円×コマ数 + ニューズレター購読費 3,000円

※ フィールドワークはオプションです。参加費は別途いただきます。(フィールドワークのみ当日支払です)

● 宿泊 各自でご予約ください。

● フィールドワーク(オプション) ※詳しくは5～7頁の案内をご覧ください。

① 「大久野島毒ガス記念館コース」5,000円 学生4,000円(20名まで)

② 「呉・下蒲刈朝鮮通信史の足跡をめぐるコース」5,000円 学生4,000円(20名まで)

③ 「広島市内原爆・軍都遺跡めぐりコース」2,500円 学生2,000円

● 申込 **7月7日(水)まで**に、別紙の申込書2枚を下記へ封書またはFaxでお送りください。

または、「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」のHP <http://zenkiri.junyx.net> から申込書をダウンロードして、メールに添付してください。

● 申込先 **【郵送】〒730-0014 広島市中区上幟町11-32 広島女学院中学高等学校**

宛名「第21回人権教育セミナー実行委員会」

【FAX】082-227-5376

【メール】zenkiri2010@yahoo.co.jp

● 送金先 郵便振替口座 加入者名「第21回人権教育セミナー実行委員会」

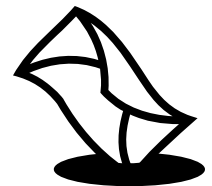
口座記号番号 01340-5-54059

※7月22日(木)までに上記送金先にご送金ください。当日払いをご遠慮ください。

申込書の送金方法をお読みください。

※お問い合わせはメールまたはFAXにてお願いいたします。

※参加を申し込まれた方には、7月末日までに受付確認書をお送りします。



2010年度 第21回全国キリスト教学校人権教育セミナー日程

オフショーン8月9日(月) フィールドワーク		場所
①10:00～ 17:30	大久野島毒ガス記念館コース JR広島駅集合。バス車中昼食(用意します) バスにて広島女学院中学・高等学校到着	
②正午～ 17:30	呉・下蒲刈朝鮮通信史の足跡をめぐるコース JR広島駅集合。バス車中昼食(用意します) バスにて広島女学院中学・高等学校到着	
③13:00～ 17:00	市内原爆・軍都遺跡めぐりコース 平和記念公園集合(昼食は各自で済ませてください) 平和公園の碑めぐりをした後バスにて市内を回ります。	
1日目 8月9日(月)		土足OK
17:00～	セミナー参加者受付開始 夕食(お弁当とお茶を用意します)	ゲーンズホール ロビー ゲーンズチャペル ゲーンズホール
18:30～19:10	開会礼拝(金信煥さん)	
19:10～19:40	全キリおよび今年のセミナーについて(第21回セミナー実行委員会)	
19:40～20:00	オリエンテーション	
20:00～	移動 懇親会	
2日目 8月10日(火)		土足厳禁
9:00～9:20	朝の祈り 小礼拝	高校チャペル
9:30～10:10	聖書研究(藤井創さん)	
10:20～12:20	全体会1:講演「教育と人権」(野田正彰さん) 休憩・応答含む	
13:30～17:30	昼食(お弁当とお茶を用意します) 分科会 ① 人権教育における参加型学習の意義 ② キリスト教学校とこどもの人権 ～教育相談室から見えてくるもの～ ③ セクシュアリティ学び始め ④ 現代の教室で部落差別問題をどう学ぶか ⑤ 在日コリアンとの共生を考える人権学習 ⑥ これからの平和教育	分科会会場(高校校舎3F)
18:00～20:00	交流会	高校チャペル
20:00～	移動 懇親会	
3日目 8月11日(水)		土足OK
9:00～9:20	朝の祈り 音楽と黙想	世界平和記念聖堂
9:30～11:00	全体会2「これからどうする?!」	地下聖堂
11:10～12:00	派遣礼拝(肥塚倅司さん)	地下聖堂
12:20～13:30	移動 「全キリ」総会(お弁当とお茶を用意します)	マリアホール

- 主催 全国キリスト教学校人権教育研究協議会/第21回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
- 後援 カトリック中央協議会学校教育委員会/キリスト教学校教育同盟/キリスト教保育連盟/全国在日外国人教育研究協議会/日本カトリック学校連合会/日本キリスト教協議会(NCC)教育部
- 賛同 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会/カトリック部落差別人権委員会/日本カトリック正義と平和協議会/在日韓国人問題研究所/在日大韓基督教会/日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会/日本キリスト教協議会部落差別問題委員会/日本キリスト教団在日韓国朝鮮人連帯特設委員会/日本キリスト教団部落解放センター/日本キリスト教婦人矯風会平和部門/日本聖公会人権担当/日本バプテスト同盟/日本バプテスト連盟在日・日韓連帯特別委員会/日本バプテスト連盟部落問題特別委員会/日本YWCA/部落問題に取り組むキリスト教連帯会議/日本基督教団西中国教区/カトリック正義と平和広島協議会

《プログラムの内容と担当者の紹介》

～祈り～

【開会礼拝 (8/9)】 金信煥さん

(きむ・しんぷあん 在日大韓基督教会広島教会名誉牧師
在韓被爆者渡日治療委員会代表幹事)

【聖書研究 (8/10)】 藤井創さん

(ふじい・はじめ 酪農学園大学〔北海道〕環境システム学部
教授 全キリ運営委員)

【朝の祈り (8/10、11)】

運営委員会と現地協力者との協働プログラムにより、小礼拝、
音楽と黙想の時など、静思の時間をもちましよう。

【派遣礼拝 (8/11)】 肥塚倅司さん

(こえづか・たかし カトリック広島司教区司祭 カトリック
正義と平和広島協議会)

～全体会～

【全体会1 (8/10)】

講演「教育と人権」 野田正彰さん

「日の丸・君が代」強制の嵐の中、教育の本質が歪められ、
子どもたちも教職員も、大きく傷つけられています。また、し
ゃにむに「強制」をぎり押しする人たち自身も、本質から目を
そらし暴力に荷担することによって、自らの人間性を損ない続
けているのではないのでしょうか。

優れた精神医学者である野田さんは、私たちが支援してきた
佐藤美和子さん（ピースリボン裁判原告）をはじめ、大勢の当
事者に聞き取りをされました。また、様々な「強制」事例の記
録を丁寧にたどり、事実を掘り起こし、「強制」への厳しい批判
を深いことばで発信しておられます。

歪められた教育の本質を私たちの手に取りもどす歩みを見い
だすために、まず、現実を鋭くえぐる野田さんのことばを、全
身で受け止めたいと思います。

～分科会(8/10)～

①人権教育における参加型学習の意義

発題者・ファシリテーター：野中春樹さん

(広島なぎさ中学校・高等学校〔広島〕)

参加型学習が日本の教育現場に導入されるようになって約20
年が経過しました。手法は、ブレインストーミング、ディバ
ート、シミュレーション、フォトランゲージ、ランキング、ロー
ルプレイ、プランニングなど多様です。参加型学習は、生徒の
興味・関心・意欲を高め、主体的な学びを可能にするだけで
なく、社会参加への意欲を高めるといった効果をあげています。
その一方で、結論が見えにくいので、生徒が何を学んでいるの
か、学習目標が達成できているのか、よく把握できないとい
った声も聞かれます。

人権教育の目標は、人権意識を高め、人権が尊重される社会
を実現するために行動する力を育てることにあります。この目
標を達成するために、参加型学習は有効なのか。今の社会にお
いて参加型を実践する意味は何か。参加型は何をめざしている
のか。参加型がうまくいかない理由は何か。参加型学習におけ
る教師の役割は何か。ワークショップを実際に体験しながら、
参加型学習についてのお互いの疑問を出し合い、一緒に考えま
しょう。

ブラジルでの民衆教育と日本での学校教育での参加型学習の
実践を通して、発表者が感じたこと、気づいたこともお話しで
きればと思っています。

②キリスト教学校と子どもの人権

～教育相談室から見えてくるもの～

発題者：山本秀樹さん(金城学院中学校・高等学校〔名古屋〕)

学校の相談室から見ていると親子の関係が随分変わってき
ました。体調不良で保健室を訪れ、そのままベッドで熟睡して
しまった生徒、母親が明け方まで勉強させていたようです。また、
子どものカバンを無断で調べ、学校からの連絡プリントを見つ
け出し、今後はプリントを郵送して欲しいと願い出る親。そこ
には親子の会話が全くありませんでした。どちらのケースも親
が「子どものため」と思い込んでいるところに、子離れできな
い親の未熟さがあります。

このような親の不安に対して教育相談室では「思春期のこ
どもとどのように関わるか」という親支援の為のワークショップ
を昨年からはじめました。1年生の親を対象にしたこの会の参加
者は昨年度20名、今年度は40名ほどに膨れ上がりました。

金城学院中学では最近「生徒支援」という新しい枠組みで
体制を組み直しています。それは従来の「教育相談」に「特別
支援」と「親支援」、生徒には「予防的・開発的なカウンセリ
ング」、そして「同僚の教師とのチームワーク」を加えた広い意
味での「生徒支援」です。相談室担当教員、常勤のスクールカ
ウンセラー、養護教諭、常勤のスクールソーシャルワーカー、教
頭というチームが毎週定期的に集まってその週にあった相談等
を詳細に報告し合います。一つのケースには複数の教員が関わ
りますので教員の孤立感はありません。深刻なケースは毎月開
催されるケースカンファレンスで金城学院大学の心理臨床の専
門家にアドバイスをいただきます。このように多くの人の知恵
を集め、チームで子どもの人権を守り、親を支援する体制が始
まってきました。

6つの分科会があります。
参加を希望される分科会を
第3希望まで
お選びください。

③セクシュアリティ学び始め

発題者：伏貫恭子さん（西南学院中学校・高等学校〔福岡〕）
クラスに一人はいるとも言われるセクシュアル・マイノリティ。西南学院中高で性同一性「障害」を人権教育の課題に位置づけた取り組みが始まりました。取り組みを始めるきっかけは？現在の戸惑いと課題などを報告し、ともに考えるときを持ちます。

また、もう一人の発題者は大阪市北区に2003年にオープンしたQWRC（Queer and Women's Resource Center）よりお招きします。QWRCはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス等、多様な性を生きる人々のためのリソースセンターです。フェミニズムの視点を重視しながら、セクシュアリティを自由に表現できる社会の実現をめざし、講座の開催や電話相談などを実施しています。同時に、セクシュアリティやジェンダーをテーマとして活動する個人や団体の活動をサポートするよう、事務所やミーティングのスペースを提供しています。QWRCが作成したセクシュアルマイノリティへの理解を進めるための啓発ビデオ「もしも友だちがLGBTだったら」を見て共に考えましょう。<http://www.qwrc.org/index2.html>

⑤在日コリアンとの共生を考える人権学習

発題者：高山祥子さん（広島女学院中学高等学校〔広島〕）
今、広島女学院高校の高2人権学習 LHR では、以下のことを目的としてプログラムを組んでいます。

①今日の日本社会は、在日コリアン（およびその他外国人にルーツを持つ多くの人々）と共生している社会であることを認識し、彼らを取り巻く社会の現状と歴史について認識を深める。②在日コリアン/外国人とともに社会をつくっていくためには何が必要かを考えること③在日コリアン/外国人の生徒が、自らのルーツを肯定的にとらえていくこと
生徒たちは、現代の日本社会に、十分な権利が保障されないまま、外国人住民が増えていく現状を学びます。その一方で、在日4世のキムイッキョンさんのHP「巻きずし大作戦」からマンガ「朴一物語」を読んで、身近な人が自分のルーツをカミングアウトしたら自分はどう行動したらいいのだろう、と自然に自分に引き寄せて考えました。そして講演で在日コリアンの2世3世と出会い、同じ時代、同じ社会を生きるパートナーとしての在日コリアンの生き方を肌で感じることができました。その取り組みをご紹介します。

～交流会のご案内～ (8/10)

全キリ人権セミナーは、充実した学びとともに、全国各地からの参加者との出会いのセミナーとしても、好評です。昼間のプログラムで得た驚きやチャレンジ、疑問や発見は、誰かと語り合うことによって、さらに違った視点が加えられ、ひと味深みを増してくれます。自分と同じような悩みをもつ参加者との出会いは、ささやかな自分の実践への自信と勇気を与えてくれます。何より、同じ思いを持つ人たちとの語り合いは喜びと元気のみなもと。

今年も、豊かな出会いと楽しい語り合いを！

④現代の教室で部落差別問題をどう学ぶか

発題者：宇津剛さん（広島女学院中学高等学校〔広島〕）

広島女学院ではここ数年高1の部落差別問題の学習カリキュラムの見直しを進めてきました。「部落」と聞いて「ブラック？」という反応を返してくる生徒が増え、「いろいろ勉強してもなぜ差別されるのか腑におちない」との声を受けて、『見なされる差別～なぜ、部落を避けるのか』（奥田均 解放出版社）をもとに、「差別される他人の物語」ではなく「差別する側」のまなざしを発見する学習に、映像や講演を組み合わせながら取り組んでいます。教員自身が新しい切り口にとまどったり、自身の語りや壁を感じたり、試行錯誤をしています。コメンテーターには石垣進さん（泉佐野市下瓦屋人権文化センター館長）に来ていただきますが、参加者の皆さんにも一緒に教案作りを考えていただければと思います。

⑥これからの平和教育

発題者：佐藤みよさん（フェリス女学院中学校・高等学校〔横浜〕）

フェリス女学院では、1985年から高校1年生の地歴・公民科の授業の一貫として、広島研修旅行を行っています。その際、広島女学院の生徒有志に碑めぐり案内をしてもらい、意見交換をする交流会も行っています。また、平和資料館の見学や被爆者から体験を聴くことなどを通じて、それまで平和に対して受け身だった生徒たちが、意識を改められて帰って来ます。教師が授業でどんなに言葉を尽くして語るよりも、実地に立って学ぶことが、一番大きな影響を与えることを実感しています。

二つ目の発題は、広島平和教育研究所研究員の方から、広島の公立小学校での平和教育の現状と取り組みについての報告です。

コメンテーターに平和教育学研究会の竹内久顕さん（東京女子大学教授）を迎え、改定教育基本法下で私たちがぶつかる平和教育の壁とこれからの可能性について、討論をしつつ考えたいと思います。

【全体会2 (8/11)】これからどうする？！

3日間のさまざまなプログラムによって学んだことを、分かち合います。参加者の中から、何人かの方にパネラーとして発題していただく予定です。他の方の声を通して、参加できなかったプログラムを知り、自らの学びを深めましょう。

懇親会もあります！

8/9夜、8/10夜

交流会はノン・アルコールですが、校外に場所を移しての懇親会では、楽しく盛り上がりましょう。ぜひ、ご参加を！！

フィールドワーク①

お お く の じ ま

大久野島に

毒ガス記念館を訪ねる

8月9日(月)午前10時

JR広島駅新幹線口集合

(集合場所地図と当日の連絡先等、詳細は後日、受付確認ハガキにてお知らせします。バスで直接セミナー会場に戻ります。駅のコインロッカーなどに荷物を預けずバスに全ての荷物を積み込んでください。)

参加費 5000 円 (学生 4000 円)

(貸切バス・フェリー代、講師謝礼、昼食代など)

定員 20 名 (先着順)

車中で昼食をとりながら、竹原市忠海町の大久野島に向かいます。ノートルダム清心中・高等学校(広島)の西川正博さんが、勤務校の中2生徒が毎年研修する場所を案内してくださり、毒ガス記念館の山内正之さんのお話を聴きます。毒ガス兵器は戦争中に中国大陸で使用され、戦後はそのまま遺棄されました。度重なるガス漏れ事故をはじめ、戦後何十年経っても人々を苦しめ続けています。軍事機密であるために、かつては地図から消された島であった大久野島。山内さんはその加害の事実に向き合い、歴史を消すまいと活動しておられます。広島女学院中学高等学校に17時半頃到着予定です。



フィールドワーク②

「海軍」の町、呉^{くれ}を通り、 しもかまがりじま 下蒲刈島で 江戸時代の 朝鮮との友好関係の跡を 訪ねる

8月9日(月) 正午 (午前12時)

JR広島駅新幹線口集合

(集合場所地図と当日の連絡先等、詳細は後日、受付確認ハガキにてお知らせします。バスで直接セミナー会場に戻ります。駅のコインロッカーなどに荷物を預けずバスに全ての荷物を積み込んでください。)

参加費 5000 円 (学生 4,000 円)

(貸切バス、講師謝礼、入館料、昼食代)

定員 20 名 (先着順)

途中、車中で昼食をとりながら、呉を通過して下蒲刈島に向かいます。呉出身で、ノートルダム清心中・高等学校(広島)の多賀俊介さんが、旧海軍を町おこしに利用し現在も自衛隊の基地がある呉の町について車窓から説明していただきます。さらに、勤務校の中3が毎年研修に訪れる、朝鮮通信使の史跡のある下蒲刈島を案内していただきます。「御馳走壺番館(朝鮮通信使記念館)」というところで郷土史家の柴村敬次郎さんのお話も聞きます。広島女学院中学高等学校に17時半頃到着予定です。

※「御馳走壺番館」では、世界でここにしかないといわれる通信使船や饗応料理の復元模型、当時の通信使の復元衣装など、リアルな教材が見学できます。

フィールドワーク③

平和公園と軍都廣島の 史跡を訪ねる

8月9日(月)午後1時00分

平和記念資料館東館前集合

参加費 2500 円 (学生 2000 円)

(昼食をすませてからお集まりください。歩くのに楽な服装、履きなれた靴をおすすめします。
集合場所地図など詳細は後日、受付確認ハガキにてお知らせします。)

広島女学院高校には、ヒロシマを学びに来られる県外・国外の方に平和公園の内外を案内するボランティア活動があります。このコースは、まず始めに広島女学院の高校生が、平和公園の中のたくさんのモニュメントをめぐるながら当時をふり返って説明します。(荷物は無料コインロッカーに預けられます。)

その後マイクロバスに乗って、明治以来、日本の大陸侵略の起点となった軍都廣島の史跡をめぐる、日本の戦争に廣島がどんなふうに関わってきたか確認していきます。案内は広島女学院中高平和教育委員長の川田悟さんです。広島女学院中学高等学校には17時頃到着予定です。

主な見学地 ①軍港宇品^{うしな}と軍事輸送鉄道宇品線宇品駅プラットホーム跡

②陸軍糧秣支廠跡(現広島市郷土資料館)

③日清戦争戦勝記念塔(現在の名称は何と“平和塔”)

④陸軍被服支廠跡

⑤陸軍兵器支廠跡(現広島大学病院)および宇品線線路跡

⑥比治山^{ひじやま}陸軍墓地

⑦1894年の臨時国会議事堂跡

⑧広島城に残る史跡 歩兵第11連隊跡

⑨ 同 地下通信司令部跡

⑩ 同 大本営跡

⑪ 同 陸軍幼年学校跡



*広島平和記念資料館の見学はありません。ご希望の方は、午前中にご観覧ください。開館8:30～ 観覧料:大人50円